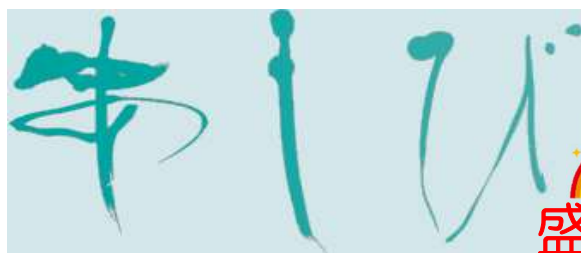


医療法人共和会 グループホーム あしび

第62号 令和8年8月吉日発行



発行：グループホーム あしび
474-0071 大府市梶田町二丁目 98 番地
Tel・Fax：0562-44-8204
E-mail：ashibi@kyowa.or.jp



(あしび HP URL)

ご挨拶

あしび通信をご覧いただきありがとうございます。今号では移行支援住居らるくの概要や入居者様の体験談を掲載しておりますので、ぜひご一読ください。

開設に向けた取り組みは、制度が新設された 2024 年度にスタートしました。まず同年にピアサポートの研修会に参加して研鑽を積み、翌 2025 年度には共和不動産の山口様やフォレスト工房の外山様をはじめ多くの方々のご協力を得ながら、物件探しとリフォームを進めてまいりました。

そして約 2 年の準備期間を経て、2026 年度より晴れて運営を開始する運びとなりました。無事にスタートを切ることができたのも多くの皆様のおかげです。ありがとうございます。移行支援住居らるくを、今後とも末永くよろしくお願いいたします。

グループホームあしび 管理者 朝倉起己

らるく 始動！

7月1日こころの日に、グループホームあしびと一体的に支援を行う移行支援住居「らるく」を開所しました。移行支援住居とは令和6年度に新設された障害福祉サービスの類型で、3年を目途に1人暮らしへの移行に向けた支援を行う住居です。本体住居とは別に、精神保健福祉士又は社会福祉士の資格を持ったサービス管理責任者を配置することが義務付けられており、一人暮らしに必要な日常生活技術、日中の過ごし方、住居探しなどについて、よりきめ細やかな支援を行うことが求められます。定員は7名。名称の由来は、フランス語の虹「ラルクアンシエル」で、入居者7名が7色の虹の色彩のようにそれぞれの個性を輝かせていって欲しいという想いが込められています。今後とも、あしび共々よろしくお願いいたします。(サービス管理責任者 小島誠生)



らるく入居第 1 号！H さんインタビュー！

Q：あしびかららるくへ引っ越してみても今はどうですか？

A：最高です。らるくに帰りたい感じがしない気持ちでいっぱい。

Q：あしびかららるくへどのように生活は変化しましたか？

A：部屋の広さが違う。圧迫感がない。あしびの時は掃除する気にならなかったけど、今は自然とマメに掃除している。

Q：らるくでの生活を通してこれからやってみたいことはありますか？

A：貯金。お金を少しずつ貯めていきたい。

Q：らるく入居希望者へ一言お願いします！

A：7人で共同生活しながら一人暮らしに向けて練習する場所。

スーパー近いしコンビニもあるしお勧めです。

⇒ 職員一同これからも H さんの一人暮らしに向けて応援していきます。（堀場麻希）

NEWS ご利用者用 iPad 導入しました！



昨年の春、あしびに Wi-Fi を導入しましたが、この夏、ご入居者様の希望に応じて、自由に使っていただける iPad を導入しました。機種選定にあたっては、無印、Air、Pro などのシリーズがある中で、担当スタッフのこだわりによって、横画面でも 4 つのスピーカーから立体的なステレオ音声を楽しめる iPad Pro をチョイス。ホールや自室での寛ぎの時間に好きな音楽を聴いたり、動画やニュースを見たり、電車やバスの時間を調べたり等、様々にご活用いただければと思っています。これからもあしびは DX（デジタルトランスフォーメーション）を進めながら、ご利用者様の自立を支援していきます。（小島誠生）

新入職員紹介 和泉英希さん

7月から勤務している精神保健福祉士の和泉英希（いずみひでき）です。出身は香川県で前職は精神科病院の外来で勤務していました。香川といえばさぬきうどんが有名で、人気のお店には観光客がバスで来て行列が出来ている光景をよく見かけます。

あしびでは入居者のみなさんがリラックスして過ごしつつ、和気あいあいとする姿があり、とても良い雰囲気時間が流れていると感じています。みなさんの生活がよりよくなるような支援や楽しい取り組みと一緒に考えていけたらと思いますのでよろしくお願いします。



グループホームあしびでは随時ご利用者様を募集しております。お気軽にお問合せ下さい。